



会社案内

COMPANY PROFILE

明和工業は炭化をはじめとした各種の環境技術により、
国連総会で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与します。



| 炭化物の節水効果を活かした気候変動適応

炭は多孔質であるため、土壤改良材として農地の保水性を高める効果があります。炭の投入は、天水に頼った農業を安定させるための大きな手段となります。



| クリーンな燃料による大気汚染の緩和

モンゴルや中国で深刻な健康問題を引き起こしている大気汚染。大きな原因である「褐炭」を煙の出ない石炭に改質することで、よりクリーンな熱源を提供し、PM2.5等の低減に貢献します。



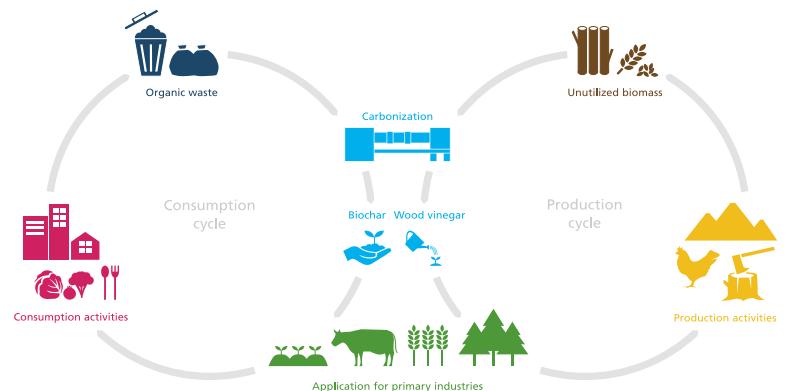
|窒素循環の改善

水草の異常繁茂は、アフリカやアジアの水産業や水上交通に壊滅的な被害を与えています。この水草を炭化し農地に撒くことで、陸地からの窒素やリン酸流入が軽減され、問題が緩和されます。

資源循環型社会の実現へ

明和工業は、炭化装置とその生産物の利活用により、真の資源循環型社会の実現に貢献します。

毎日食べ、体の一部となるお米や野菜。化学物質に頼らない、より自然な農法で作られた食料へのニーズは国や地域を問わず高まってきています。明和工業では自社が開発した炭化装置から生産される炭化物、木酢液の農業利用について10年以上の実績があります。自社の畑や研究機関による徹底した生育調査や品質・味覚試験、成分分析によって、安心・安全な野菜、また、それを育てる農業資材を提供いたします。そのうちの一つが「肥炭粉」です。



地産地消の必需品

肥炭粉 びったんこ



食肉センターの
汚泥が原料だから、リン・
カリウム・鉄分などが豊富!

炭だから、
保水性、透水性が抜群!
土壤改良材としても最適!

奇跡のリンゴで知られる
木村秋則さんも絶賛!
自然栽培との相性も抜群!



会社概要 Company Profile

商 号 明和工業株式会社 (Meiwa Co., Ltd.)
創 業 1964年3月
会社設立 1965年2月
資 本 金 65百万円 (2017年4月)
従業員数 50人 (2017年4月)
代 表 者 代表取締役 北野滋
所 在 地 〒920-0211 石川県金沢市湊三丁目8番地1
TEL. 076-239-0118
FAX. 076-238-0866
E-mail kikaku@meiwa-ind.co.jp
http://www.meiwa-ind.co.jp

営 業 所 北海道営業所／美唄市
北海道事務所／札幌市
熊本営業所／熊本市
宮崎営業所／宮崎市
沖縄営業所／那覇市

出資企業 熊本／株式会社晴喜製作所
中国／鞍山明和環保科技有限公司

福 祉 厚 生 イントレクチュアルセンター

お 取 引 先 北國銀行 本店営業部
銀 行 みずほ銀行 金沢支店
三井住友銀行 金沢支店

主な取引先 (※略)
全国農業協同組合連合会／経済農業協同連合会／農業協同組合／官公庁／教育機関／農業施設製造メーカー／農林水産関連メーカー／環境プラント機器製造メーカー





自然との



代表あいさつ Foreword

明和工業は創立して半世紀が過ぎ、新たな創業時期を迎えてます。従来の集塵装置や農薬廃水処理装置などの農業施設に加えて開発したバイオマス利活用システムの要求が、全世界に広がってきています。環境問題に国境はありません。今後は更なる海外展開を積極的に進めます。気候変動、窒素循環、生物多様性など既に地球規模を逸脱した環境問題を、明和の技術で解決し、広く社会に貢献することに挑戦し続けます。

2

研究開発・技術サービス事業

Research and Technical Service

明和工業は小さい会社ながら、日本トップクラスの研究機関や省庁との連携を積極的に行っています。多種多様なニーズに応えられるよう、本社実験棟には試験・実演装置を常設し、絶えず研究開発を行っています。実験や分析のご依頼、視察対応も承っております。



主な産学官連携事業

炭のガス化発電（東京大学／東京工業大学）、急速熱分解（東京大学／北陸先端科学技術大学院大学／産業技術総合研究所）、メタン発酵（金沢大学／九州大学）、界面活性剤・凍結濃縮（石川県立大学／石川県工業試験場／石川県農業総合研究センター）、セシウム除染（東京大学／東北大）、バイオオイル・木酢液（鹿児島大学）、他多数

1

バイオマス利活用事業 Biomass Utilization

明和工業のバイオマス炭化装置は、簡単にいえば「有機ごみを投入し、炭として再資源化することが可能なプラント」。生産された炭は自然肥料や土壤改良材、水質浄化剤、燃料等として利用可能であることから、廃棄物管理、農業、環境、水衛生、エネルギー、気候変動など、幅広い分野で循環型社会づくりに貢献します。また、小型分散式の木質バイオマス用ガス化発電装置や炭のガス化発電装置、バイオマスボイラー、バイオマスバーナー、メタン発酵システム、堆肥化などの分野においても、先進的な開発成果や特許を次々と生み出しています。



主な処理原料

農業残渣、食品廃棄物、畜糞、鶏糞、間伐材、粉殻、下水汚泥、水草、紙おむつ、家畜の病死体、携帯電話、褐炭など多数



世界中から求められる、明和工業のバイオマス利活用技術。

[近年の海外関連トピック]

- ケニア・ナイロビで炭化装置をTICAD VIに展出
- ベトナムにてメタン発酵装置と炭化装置を納入
- 中国で汚泥炭化装置と豚の病死体炭化装置を納入
- インドにて炭化装置2台の販売契約を締結
- JICA中南米民間連携調査団に参加し、
　　ブラジルとペルーを現地調査
- モンゴルにおける大気汚染対策の動きがNHK特番に
- ケニアにおけるJICA案件化調査に採択
- ボツワナ、ナイジェリア、ケニア等の閣僚級と会談
- ABEイニシアティブで学生14人をインターんとして同時受け入れ
- JICA沖縄の研修の一環で10カ国から研修員を受け入れ

調和を創造する。

3

農業関連事業

Agriculture



明和工業は、農業施設における環境対策装置メーカーの先駆けとして、40年以上前に業界に参入しました。全国でも高いシェアを占め、特に集塵装置、廃水処理装置、穀物等貯蔵乾燥システムでは、それぞれ全47都道府県、28道県、27道府県と、圧倒的な納入実績を有します。設計から製造、据付、試運転、メンテナンス・補修、設備の新規入れ替えまで、熟練スタッフが対応いたします。

主な関連装置

- 集塵装置
- 廃水処理装置
- 粉殼膨張軟化装置
- 穀物等貯蔵乾燥システム

主な関連製品

- 自然肥料兼土壤改良材「肥炭粉(びったんこ)」
- 木酢液

4

自然調和型 ライフスタイル提案事業

For Sustainable Lifestyle



明和工業は、長年に渡り薪や炭、農業と向き合い続けてきた企業です。熟練のバイオマス技術や農業分野での経験をもとに、個人や森林組合、小規模農家向けのラインアップを揃え、皆様の日常が自然に一步近づくお手伝いをいたします。

主な関連製品

- 薪・炭ストーブ「ドモネ」／ペレットストーブ／生ゴミ処理家庭用コンポスト「家堆粉(かたいこ)」／庭先炭化装置／特別栽培コシヒカリ「すず美米」／季節の野菜